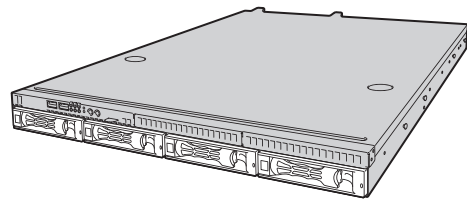


DXメディアサーバー DMS10B1

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。



■安全上のご注意

ご使用になる前に、同梱の「スタートアップガイド」に記載されている「安全上のご注意」を必ずお読みください。

■本製品について

本製品はTS出力ボードを搭載した、弊社DXマルチキャストシステム専用サーバーです。

■構成部品

・本 体*	× 1 台
・電源コード	× 2 本
・ExpressSupportPack G3	× 1 セット
・取扱説明書	× 1 部

■ユーザー登録のお願い

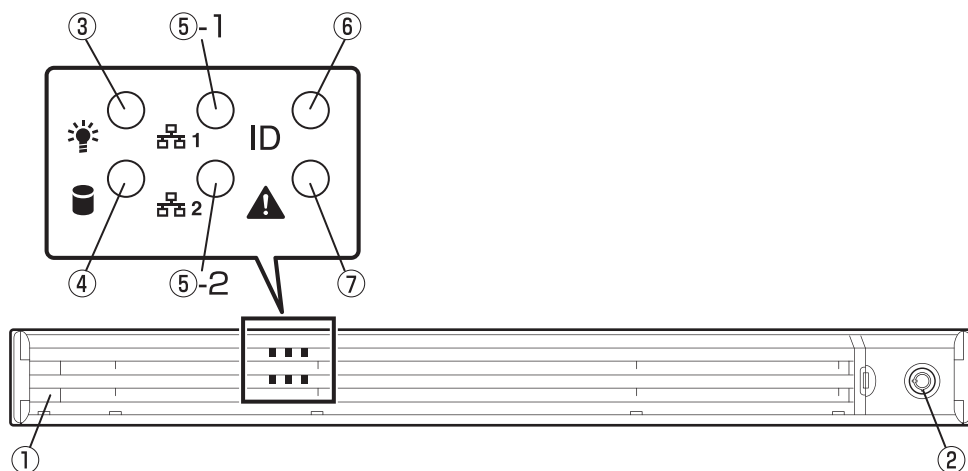
本製品をご使用になる前に、
必ずユーザー登録を行なってください。

ユーザー登録のしかたなど、詳しくは本製品に付属の
「ExpressSupportPack G3」をご覧ください。

※ ユーザー登録は、サーバー本体ハードウェアの製造元によるサポートを受けるために必要です（登録およびサポートに費用はかかりません）。

■各部の名称とはたらき

<前 面>



① フロントベゼル

前面と上面を保護するカバー。
付属のベゼルロックキーでロックすることができる。

② キースロット

フロントベゼルのロックする鍵の鍵穴。

③ POWERランプ【緑色／アンバー色】

電源コード接続後、装置初期化中はアンバー色に点灯する。
電源をONにすると緑色に点灯する。

④ DISKアクセスランプ【緑色／アンバー色】

内蔵のハードディスクドライブにアクセスすると緑色に点灯する。
ハードディスクドライブが故障するとアンバー色に点灯し、リビルド中は緑色とアンバー色に交互に点滅する。(RAIDシステムのみ)

⑤ LINK/ACTランプ【緑色】

ネットワークと接続しているときに点灯する。
⑤-1がLAN1、⑤-2がLAN2を表す。

⑥ UID(ユニットID)ランプ【青色】

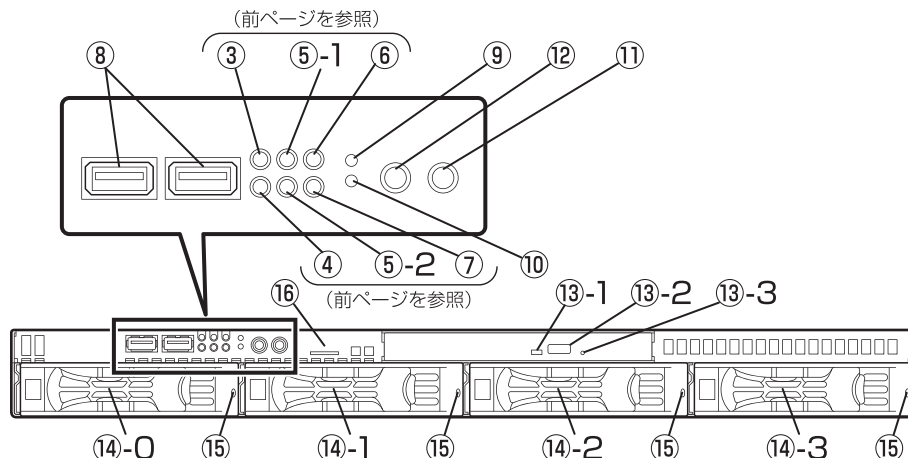
UIDスイッチを押すと点灯する。
ソフトウェアからのコマンドによっても点灯または点滅する。

⑦ STATUSランプ【緑色／アンバー色】

本機の状態を表すランプ。
正常に動作していると緑色に点灯する。
異常があるとアンバー色に点灯または点滅する。

■各部の名称とはたらき (つづき)

<前 面 (フロントベゼルをはずした状態)>



⑧ USBコネクタ(フロント)

USBインターフェースに対応している機器と接続する。

青色：USB3.0対応

黒色：USB2.0対応

⑨ BMC RESETスイッチ

本機のBMCをリセットするスイッチ。

EXPRESSSCOPEエンジン 3 (BMC)に問題が発生している場合にのみ使用する。

使用する場合は、スイッチを5秒間押し続ける。

⑩ DUMPスイッチ(NMI)

押すとメモリダンプを実行する。

⑪ POWERスイッチ

電源をON/OFFするスイッチ。一度押すとPOWERランプが点灯し、ONの状態になる。もう一度押すと電源をOFFにする。

4秒以上押し続けると強制的に電源をOFFにする。

⑫ UID(ユニットID)スイッチ

前面/背面にあるUIDランプをON/OFFするスイッチ。

スイッチを一度押すとUIDランプが点灯し、もう一度押すと消灯する。

ソフトウェアからのコマンドによっても点灯または点滅する。

⑬ 光ディスクドライブベイ

オプションの光ディスクドライブなどを取り付けるベイ。

購入時のオーダーによって、次のいずれかのドライブが搭載される。

－ DVD-ROMドライブ

－ DVD Super MULTIドライブ

⑬-1：光ディスクアクセスランプ

⑬-2：イジェクトボタン

⑬-3：強制イジェクトホール

⑭ 2.5型/3.5型ドライブベイ

ハードディスクドライブを搭載するベイ。

丸数字のあとの数字はスロット番号を表す。

標準構成ではすべてのベイにダミートレイが搭載されている。

⑮ DISKランプ【緑色/アンバー色】

各ハードディスクドライブにあるランプ。

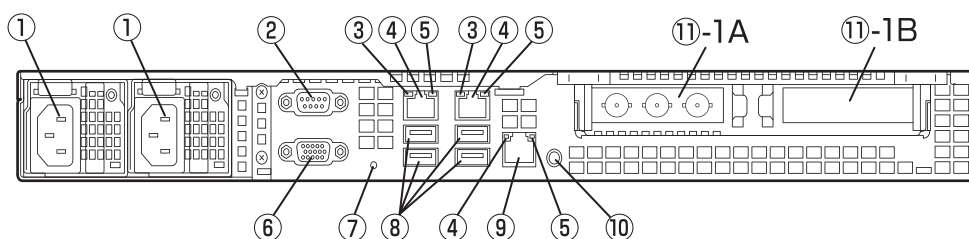
ハードディスクドライブにアクセスすると緑色に点灯する。

ハードディスクドライブが故障するとアンバー色に点灯し、リビルド中は緑色とアンバー色に交互に点滅する。(RAIDシステムのみ)

⑯ スライドタグ

サーバー本体ハードウェアの型番、シリアル番号を記載したラベルが貼り付けられている。

<背 面>



① ACインレット

付属の電源コードを接続する。

② シリアルポートA(COM A)コネクタ

シリアルインターフェースを持つ装置と接続する。

専用回線に直接接続することはできません。

③ LINK/ACTランプ【緑色】

LANのアクセス状態を示すランプ。

④ LANコネクタ

100BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応のLANコネクタ。Shared BMC LAN機能を使用することで、LANコネクタ1を通常LANだけでなく管理専用LANとしても使用することが可能。ただし、両方のデータを送受信するため、ネットワークのパフォーマンスが低下する可能性あり。

⑤ SPEEDランプ【緑色/アンバー色】

LANポートの転送速度を示すランプ。

⑥ ディスプレイコネクタ

ディスプレイと接続する。

⑦ DC POWERランプ

電源がONされると緑色に点灯する。

⑧ USBコネクタ

USBインターフェースに対応している機器と接続する。

⑨ マネージメント専用LANコネクタ

100BASE-TX/10BASE-T対応のLANコネクタ。

EXPRESSSCOPEエンジン 3などの接続で使用する。

通常のLANとしては使用不可。

またShared BMCLAN機能を使用したときも使用不可。

⑩ UID(ユニットID)スイッチ/ランプ【青色】

前面と背面にあるUIDランプをON/OFFするスイッチ。

スイッチを一度押すと、UIDランプが点灯し、もう一度押すと消灯する。

⑪ スロット

⑪-1A：TSボード (DVB-ASI) の入出力端子。

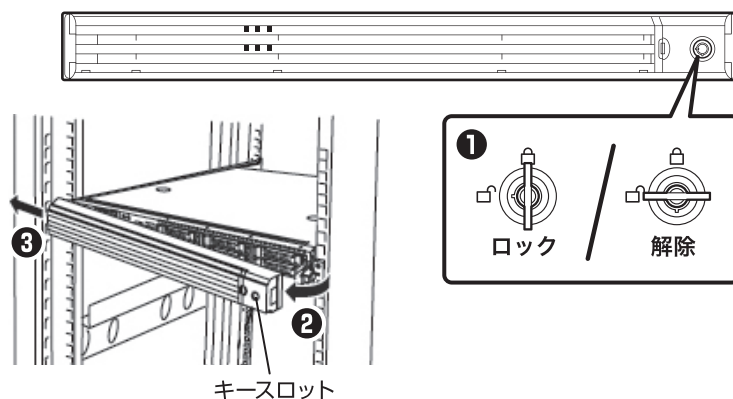
⑪-1B：RAIDコントローラを搭載。

■準備する

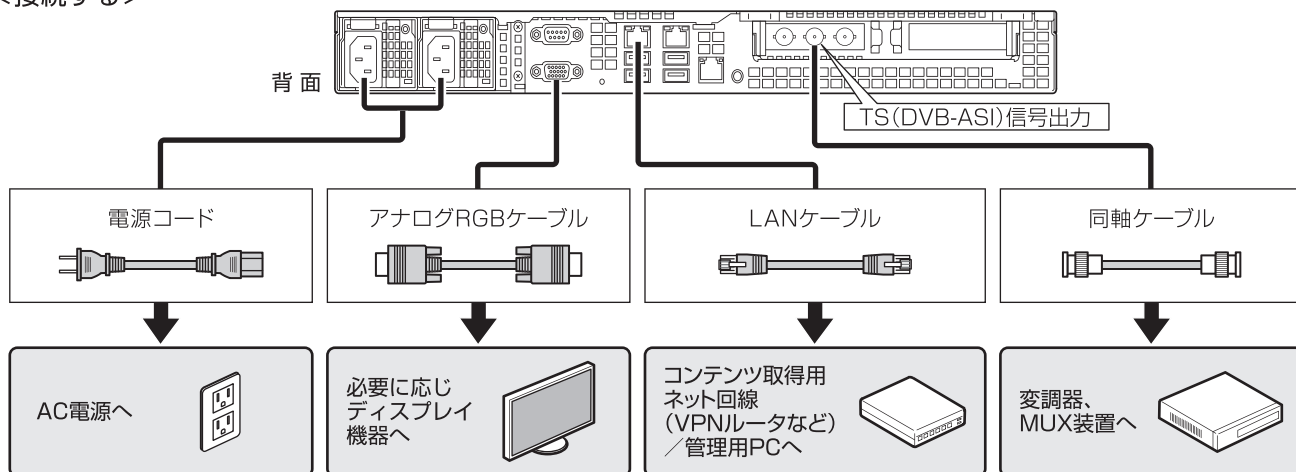
<フロントベゼルの取りはずし>

本機をラックに搭載した場合、電源のON/OFF、または光ディスクドライブを取り扱うときは、フロントベゼルを取りはずします。

1. キースロットにベゼルロックキーを差し込み、キーをフロントベゼル側に軽く押しながら回して、ロックを解除します（**①**）。
2. フロントベゼルの右端を軽く持って手前に引きずります（**②**）。
3. フロントベゼルの左に少しスライドさせてタブをフレームからはずし、本機から取りはずします（**③**）。

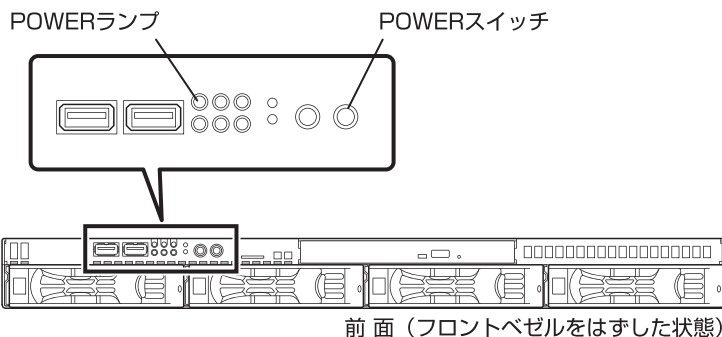


<接続する>



<電源を入れる>

1. ディスプレイと周辺機器の電源をONにします。
2. フロントベゼルを取りはずします。
(➡上記<フロントベゼルの取りはずし>参照)
3. 前面のPOWERスイッチを押します。
POWERランプが緑色に点灯し、しばらくするとディスプレイに「NECロゴ」が表示されます。



「NEC」ロゴを表示している間、自己診断プログラム (POST) が動作してハードウェアを診断します。

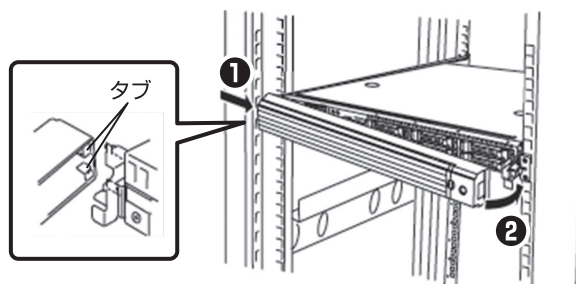
「NEC」ロゴおよびロゴ下部に何らかの文字が表示されるまで、電源はOFFにしないでください。

<フロントベゼルの取り付け>

フロントベゼル左端のタブを本製品のフレームに引っかけるようにしながら取り付けます。

取り付け後はセキュリティのためキーでロックしてください。

取り付け時、誤ってPOWERスイッチを押さないようご注意ください。



詳細設定は完了して納入されておりますが、確認・変更される場合は、スライドタグ (2ページ⑩参照) に記載の本体型番をご確認いただき、ハードウェア製造元のウェブサイトにて提供されている資料をご確認ください。

■使いかた

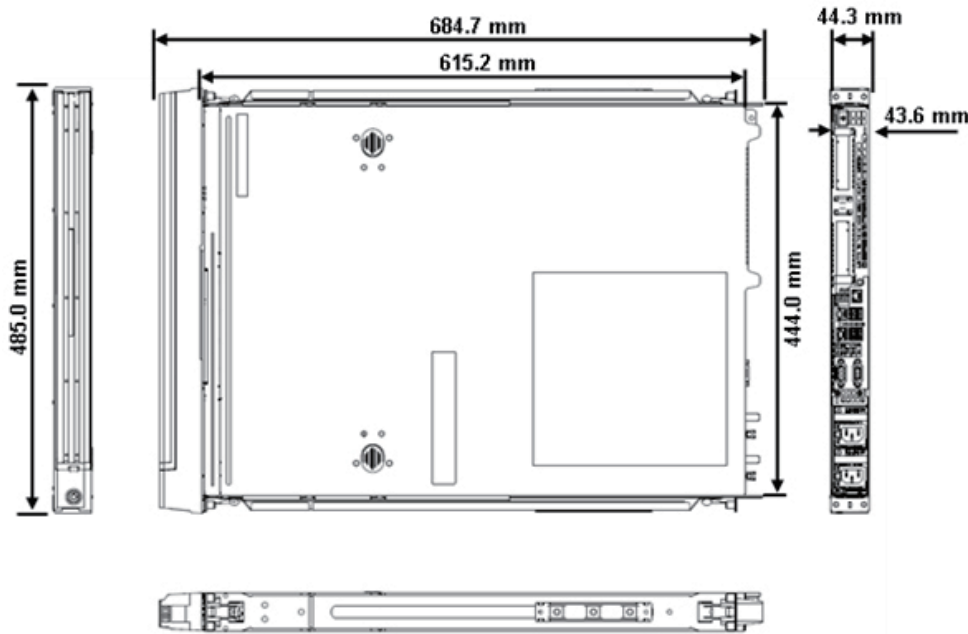
本製品は、リモートで操作を行なうシステムです。操作のしかたについては、管理運用者向けの資料をご覧ください。

仕様

サーバー本体	ハードウェア	Express5800シリーズ
C P U	搭載 C P U	インテル® Xeon® プロセッサ E3-1220v3
	動作クロック	3.1GHz
	コア/スレッド数	4C/4T
チップセット		インテル® C224
メインメモリー		8GB (4GB×2)
ストレージ		3.5" SATA-HDD (500GB×2) (RAID1を構築)
RAIDコントローラ		RAID 0/1対応
光学ドライブ		DVD-ROM×1
ネットワークインターフェース		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ×2
		100BASE-TX/10BASE-T ×1 (マネージメント用)
外部インターフェース	D V B - A S I	入力×1、出力×2 (BNC型レセプタクル (75Ω))
	モ ニ タ	パケット長：188/204/208Byte
	U S B 3 . 0	アナログRGB×1ポート (ミニD-sub15ピン)
	U S B 2 . 0	3ポート (背面×2、前面×1 (type A))
	シリアルポート	3ポート (背面×2、前面×1 (type A))
電源	入力電圧	1ポート (RS-232C準拠/D-sub9pin)
	周波数	AC100V/AC200V ±10%
	電圧	50/60Hz ±3.0
	冗長ファン	2 (ホットプラグ対応冗長電源)
消費電力		1
寸法		最大513.0W
質量		485.0(W) × 684.7(D) × 44.3(H) mm (フロントベゼル/スライドレール/突起含む)
使用温度範囲		約15Kg (レール含む)
インストール OS		10~40℃
		centos ver.6.5

規格および仕様は改良により、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

外形寸法 (単位：mm)



※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

保証規定

- サーバー本体ハードウェアの無償保証期間は、製品納入日より5年間となっております。無償保証内容は、ハードウェア製造元によるオンサイト修理作業となります。
- サーバー本体ハードウェア以外 (TSボード、ソフトウェア) の無償保証期間は、製品納入日より1年間となっております。無償保証内容は、センドバック修理対応となります。
- 自然災害、改造等による故障、障害については一切の責任を負いかねます。また、保証期間外の故障対応は有償となります。

カスタマーセンター ☎ 0120-941-542

お昼時間外も土・日・祝日もご利用ください！

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

携帯電話・PHS・一部のIP電話で左記番号がご利用になれない場合 03-4530-8079
(受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く)

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>